



## 「ナイトサーカストレイン&「OLA!」公演」



高松琴平電気鉄道との連携企画。まもなく引退が決まっているレトロ電車を借り切り、サーカスアーティストが車内でパフォーマンス！

琴平では街角のファイヤーパフォーマンスを見ながら、ナイトパフォーマンス「OLA!」にいざないます。「OLA!」は鳶職をモデルにした創作サーカス。大掛かりな舞台美術と日本を代表するエアリアルアーティスト、特殊照明で魅せます。

日時：9月29日（日）17時仏生山駅集合、17時27分発（乗車時間約1時間）

「OLA!」公演は19時半開演（公演時間約1時間）。

琴平での終了予定時刻は20時30分（帰りは各自お帰りいただきます）...

会場・内容：ことடன்レトロ電車（仏生山駅にて乗車）内でのパフォーマンス

演出・出演：智春

出演：DAIKI（一輪車ほか）、サブリミット（アクロバットデュオ）、Juggler Laby（ジャグリング）

→ 琴平町内でファイヤーパフォーマンス（Su）

→ 琴平町文化会館で創作「OLA!」鑑賞。

出演：吉田亜希（エアリアル）、目黒宏次郎（テトラアクト、バランス）、松葉川健一（ジャグリング）

音楽：渡辺庸介（ドラム、ボイスパーカッションなど）

特殊照明：市川平

アーティストックディレクター：田中未知子

演出アドバイザー：Bernard Quental、上の空はなび

定員：70人

参加料：8,000円（3つのパフォーマンス料金と往路レトロ電車使用料込み）

琴平町文化会館での創作「OLA!」鑑賞のみの方は2,500円。

お申込み、お問い合わせ：メール [info@scf.or.jp](mailto:info@scf.or.jp) 電話 080-2977-5469

## 「ナイトサーカストレイン」【演出家プロフィール】

智春

チキキ\*パークウ主宰。コンテンポラリーサーカス、舞台、競技大会の選手振り付けまでを手がける演出・振付・妄想家・クラウン。若手演出家コンクールや八雲国際演劇祭での最優秀演出賞、観客賞、主演女優賞をはじめ国内外のフェスティバルに招聘され数々の賞を受賞。

ももいろクローバーZ、ケツメイシなどのコンサートでサーカスアートディレクターとして、演出、振付、ディレクションも手がけ、それらの作品は高く評価された。

現在コンテンポラリーサーカス Witty LookのメンバーCHEEKY!として結成から世界中で2500ステージを超える招聘公演を行い、イギリス、スイスなどのフェスティバルでBest prizeを受賞。シルクドウソレイユ登録アーティストでもある。

## 【出演者プロフィール】

Witty Look

高度な一輪車の技術と、アクロバット技術を駆使したコメディエンターテインメントショー！ 世界最高峰の一輪車テクニクの持ち主のDAIK Iと 日本屈指の女性アクロバットクラウンCHEEKY!がコミカルにそしてスマートにエキサイティングなショーを繰り広げます。日本で、一輪車を使ったアクロバットショーを行うのはwittylookだけ。世界的にも類をみない二人のパフォーマンスは国内のパフォーマンスコンテストはもちろん、海外のフェスティバルでも多数優勝を重ね、言葉や国境、年齢をも超えて世界中の人たちに愛されています。



サブリミット

サーカス出身のガッツと元体操選手のヨーコによる最強アクロバットペア。美しくパワフルなハンドトゥハンドを武器に世界 20 ヶ国で公演。

他に、ローラーバランス、ジャグリング、空中ブランコ、サーカス芸ワークショップも実施可能。

ミニサーカスチーム「コブリナサーカス」、「うんぷてんぷ」も主催している。2001年 DAIDOGEI ワールドカップ・ジャパン部門優勝、2002年ワールド部門銅賞。2003年ワールド部門銀賞。



Juggler Laby

2004年にジャグリングを始め、史上最速でジャグリングの全国大会である Japan Juggling Festival (JJF) の個人部門で優勝。その後、蜷川幸雄演出の舞台『エレンディラ』に出演するなど、様々な舞台、イベント、国内外のフェスティバルに出演し。卓越したジャグリング技術が織りなすパフォーマンスで観客を魅了している。



## 新作創作サーカス「OLA!」公演

アーティスティックディレクター：田中未知子 演出アドバイザー：Bernard QUENTAL、上の空はなび

「OLA!」は建設現場と鳶さん（高所作業員）からインスピレーションを受けたストーリーで、実際の足場を舞台美術に、サーカス、音楽、特殊照明で繰り広げられる、創作サーカス作品です。

瀬戸内サーカスファクトリーが鳶さんたちとのコラボする中で生まれた構想が、ついに舞台作品として登場します！

### コンセプト

空に近い仕事。

地表から、地面を天に近づけていく仕事、それが鳶。

鳶の仕事のイメージとはどんなものだろう。汗をかき、荒々しく声を掛け合い、足場材を組み、モノを投げ上げたり下ろしたり...

淡々とリズムカルに、暑い時も、寒い時も、環境を受け入れながら働く。

空を突き抜ける高層建築も、鳶がいなければ成り立たない。

神に近い存在ともいわれる鳶だけれど、その存在と仕事を本当に知る者は少ない。

そんな鳶さんにスポットを当て、サーカスアーティストが鳶さんの仕事を聞き、鳶の動きやストーリーにインスピレーションを受けながら、想像力を解放させる。

パーカッションのリズムに乗り、作業着から飛び出したアーティストが空想の世界へと飛び立つ。

（2019年にはどこまで完成形に近づけられるかまだわからないが、ある鳶のパーソナルストーリーのような形にしたい。）

特殊照明の効果により、建設足場は、白い光の群れ暗闇に浮かび上がる工場地帯に見えてくる。

白い煙が立ち上がる。そこには、煙突男のようにただひたすらに高みに昇っていく人影が現れ...

人間の強さ、逞しさ、可笑しさ、切なさがすべて詰まった、愛すべき世界がそこにある。

アーティスティックディレクター 田中未知子

【出演】吉田亜希（エアリアル）、目黒宏次郎（テトラアクト）、松葉川健一（ジャグリング）

【音楽】渡辺庸介（ドラム、ボイスパーカッションほか）

【特殊照明】市川平

【足場、鳶協力】

（株）満岡組、日建リース工業（株）、藤本工業

「OLA!」創作風景映像コチラから↓

